

心つないで

No. 1 1

発行

2011年6月20日

東日本大震災

ろっこう医療生協・対策本部〈本部長・金丸正樹〉

(ろっこう医療生協・本体内 Tel 078-802-3424)

これからの支援活動方針が決まりました！

5月理事会および6月の常勤理事会で、今後の被災地支援活動の方針を具体的に決めました。被災地は、まだまだ復旧・復興にはほど遠い困難な毎日です。息長く、そして私たちに出来ることをしっかりと続けていきましょう。

1 大船渡の仮設住宅等への訪問・健康管理支援行動

● 7月から、いよいよ現地へローテーションで支援に

千葉先生のご縁ですでに2回にわたって現地支援に入った、岩手県の大船渡市から依頼を受け、7月から現地の仮設住宅などへの訪問・健康管理支援の活動を取り組みます。

大船渡市役所保健福祉課が現地調整機関となり、県立大船渡病院を現地窓口に行動します。

● すでに24人の職員のみなさんがエントリー

6月上旬から、現地支援行動の参加希望を法人内に募集しましたところ、現在までに24人の職員から申し出を受けました。ありがとうございます。今後、各事業所管理者とも調整し、ローテーションを組んでいきます。

また、支援応募は今後も引き続き受け付けますので、事情の許す限りご協力お願いします。

2 8/6「原発セミナー」の開催

◆ 原発への知識と理解を深めるために

福島県は、今なお原発事故の影響で多くの不安に包まれています。それは、日本中の原子力発電所54基に囲まれて暮らす、すべての国民にとって自分たち自身の問題でもあります。必要なのは、正しい理解と正しい対処です。

そのための一助として、下記のように「原発セミナー」と題して、公開講演会を開催します。ぜひご参加ください。

- 日時 8月6日(土) 午後2時～4時
- 会場 兵庫県福祉センター(原田の森ギャラリー・西へ3分)…参加予想が多いようなら変更有り
- 内容 学習講演:「福島原発と日本のエネルギー政策」(岩本智之・元京大原子炉実験所教員)
福島からの訴え、福島を応援するミニライブ ほか

3 8/5-8「神戸においでよ！福島っ子プロジェクト」の実施

★ 福島中央市民医療生協・職員のお子さんたちを神戸にお招き

友誼生協の福島中央市民医療生協で働く職員のお子さんたち約20人を、夏休みを利用して神戸に招き、原発事故で疲弊した心身をリフレッシュしてもらう企画です。現在、現地と調整中で、ぜひ皆さんもご協力ください。

- 日時 8月5日(金)～8日(月) の3泊4日
- 受入 約20人のお子さんと保護者(職員)若干名
- 内容 神戸の様々な場所を巡る機会を企画し、癒し、リフレッシュしてもらいます
王子動物園、須磨水族館、甲子園球場、などなどを案内します
交流パーティーも企画します

4 「りんごプロジェクト」の実施

▼ 風評被害に抗して

福島県名産のりんごの販売取り次ぎをします。秋の収穫期に向けて、今から現地のりんご農家の皆さんと相談します。

5 「被災地支援活動基金」の取り組み

▲ 財政づくりに、もう一がんばりを！

以上のような活動を息長くつづけるためには、かなりの財政基盤が必要です。現在、様々な助成金制度への申請も進めています、募金活動をさらに強めます。職員の皆さんもぜひご支援下さい。

●福島中央市民医療生協から、私たちの支援活動に対するお礼の「ビデオレター」が届きました。各事業所に回しますから、ご覧下さい。